

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

公営企業会計		事務事業分類		基礎点検	
事務事業名 配水池の耐震化事業		シート番号		D 建設・整備事業	
担当部署名 上下水道 局		水道 部		水運用管理 課	
		評価責任者(課長名)		門田	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	昭和 63 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	水道法			
	4	関連計画	新世紀第二次配水施設整備事業計画(平成20~27年度)、堺市上下水道ビジョン等			
5	事業実施の経緯	本市の配水池の多くは昭和40年代に建築されており耐震性を有していない配水池が存在するため、南海トラフ巨大地震等の震災時の安定給水を確保する観点から、更新時期に合わせ優先度の高いものから順に耐震化工事を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (家原寺配水場) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民をはじめとしたお客さま			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	配水池は水道施設の中核として、震災時においても機能を保持することが必要なことから、計画的に耐震化事業を推進する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	配水池の耐震化工事を計画的に実施する。 1池で運用している配水池を2池化することにより、安定給水の強化を行う。 配水池に緊急遮断弁及び、応急給水施設を設置することにより、災害時における応急給水の確保を図る。 平成30年度は、以下の工事を実施した。 ・岩室高地配水池 超高池配水池築造工事(H28~H31完了) ・桃山台配水場受水池 目地耐震補強工事(H29~H31完了) ・家原寺配水場配水池更新工事実施設計業務(H30~31完了)			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() 橘建設(株)、祐世建設(株)				

Ⅲ. 投入量

項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	401,788	175,936	0	141,972	
	主な事業費内訳	配水池耐震化事業	千円	401,788	175,936	0	141,972
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	0	0	0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円	321,419	95,106	0	70,000
		その他()	千円				
		一般財源	千円	80,369	80,830	0	71,972
	12 人件費 (b)	千円	16,400	16,400	16,400	24,300	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	418,188	192,336	16,400	166,272		